

第1回 桐生市総合計画審議会 議事要旨

○日 時 令和5年6月26日（月）午後6時30分～午後8時00分

○場 所 桐生市保健福祉会館 5階 503会議室

○出席者 23名

【審議会】 17名

会 長：桐生市教育委員会 教育長職務代理者	板橋 英之
副会長：一般社団法人きりゅう市民活動推進ネットワーク 理事長	近藤 圭子
委 員：桐生商工会議所 会頭	初山 和久
桐生市農業委員会 会長	今泉 芳雄
桐生市区長連絡協議会 会長	茂木 新司
桐生市社会福祉協議会 常務理事	大木 茂雄
桐生市子ども・子育て会議 委員	谷口 淳美
一般社団法人桐生青年会議所 直前理事長	深澤 佑太
桐生市婦人団体連絡協議会 体育振興部担当	間中 一枝
群馬大学 大学院理工学府 教授	天谷 賢児
群馬大学 大学院理工学府 教授	金井 昌信
新里の未来を語る会 会長	瀬谷 源
黒保根の未来を語る会 副会長	木村 光一
群馬県知事戦略部デジタルトランスフォーメーション戦略課 課長	間々田 祐美子
公募市民	清水 哲
公募市民	山口 典利
公募市民	園田 奈緒
(欠席者)	
委 員：桐生市医師会 理事	星野 仁
公募市民	茂木 和子

【桐生市】 6名

市長	荒木 恵司
＜事務局＞桐生市共創企画部長	西條 敦史
桐生市共創企画部企画課長	橋本 頼孝
桐生市共創企画部企画課企画担当係長	森下 英明
桐生市共創企画部企画課企画担当	曾我 延博
桐生市共創企画部企画課企画担当	伊藤 美和子

【傍聴者】なし

【報道機関】2社

○会議内容

1 開 会 [開始：午後6時30分]

2 委員の委嘱

- ・荒木市長より委員へ委嘱状を交付。

3 市長挨拶

- ・荒木市長より挨拶。

4 自己紹介

- ・委員及び事務局の自己紹介。

5 会長及び副会長の選出

- ・委員の互選により、会長に板橋委員を選出。
- ・会長の指名により、副会長に近藤委員を選出。

6 諮問

- ・荒木市長より審議会（会長）へ諮問。

7 議題

- ・議事に入る前に、事務局より、過半数以上の委員の出席により会議が成立することを報告。
- ・議事進行は、桐生市総合計画審議会規則第4条の規定により、会長が議長として行う。
- ・本審議会を一般の方が傍聴できるように会議を公開とすること、また、審議会において議論された内容等について、市のホームページで公開するについて、各委員に了承をいただく。

なお、市のホームページで公開する内容としては、どの委員がどういった発言をしたのかという情報については名前を伏せて公表することや、氏名及び選出団体に関する委員名簿も公開することで了承をいただく。

（1）桐生市総合計画審議会について（資料1・資料2）

（2）桐生市第六次総合計画等について（資料3）

（3）審議会の今後の進め方について（資料4）

- ・上記の（1）から（3）について、資料1～資料4、桐生市第六次総合計画に基づき、事務局より一括で説明を行った。
- ・意見、質疑応答は以下のとおり。

委員	総合計画は8年間と決まっていて、前期の4年間はやってきたわけだが、その後の4年間について、計画を立てるということで、前期からの流れというか、基本計画も決定している。これからやる4年間の施策は、前期の4年間を見直ししながら進めていくのか。
事務局 (企画課長)	基本的には、前期の4年間で踏襲しながら、デジタルの推進などを取り込んでいかなければならない。また、コロナ禍を受けて、指標等、必要なものは見直ししていかなければならないというような作業が発生する。委員ご指摘のとおり、前期の計画を受けつつも、付け足したり、見直したりすることになるものと考えている。

委員	第六次総合計画の中には、新庁舎建設の内容は記載されているか。
事務局 (企画課長)	第六次総合計画の中には、記載していない。
委員	第六次総合計画に新庁舎の建替えの件が記載されていないとすると、厚生病院の建替えの問題なども、話をしなければいけないと思う。事務局の説明とすると、そういった話はタブーのように聞こえた。どの程度の意見を出して、どの程度の答申ができるのか、全く見直してよいということもあるのか。次回の会議から、実際の見直しに入ると思うが、今回はそのような議論もできない状況だと思うが、どの辺まで議論できるのか教えてもらいたい。
事務局 (共創企画部長)	厚生病院の建替えの問題の話ですが、厚生病院の建替えが必要か必要でないのかという議論については、総合計画の中には、厚生病院を建てる、建てないという内容は記載しない。 総合計画の中の「2 福祉健康の増進」という項目で、地域医療の充実というページがある。桐生厚生総合病院の機能の充実を記載している。例えば、厚生病院が必要かどうかについては、こういった項目の中で議論いただく、皆様のご意見の中で、厚生病院はこうした方がよいという意見が出る中で、それに見合った建替えについての議論が別に行われる形になると思われる。
委員	総合計画前期基本計画の4年間の評価を受けて、後期基本計画の意見が出てくると思うが、そういった点は、どのようなスケジュールになっているのか。
事務局 (企画課長)	実際の審議については、次回の会議からということで説明させていただいたが、前期基本計画の評価についても、次回の会議で説明したいと考えている。
委員	本日の資料もたくさんあるため、資料を先に送付してもらえると助かる。 議論する内容が先に分かっていると、検討もしやすいと思うので、資料の事前送付について、よろしくお願いしたい。
事務局 (企画課長)	次回以降の資料につきましては、会議開催の1週間程度前には、事前送付させていただきたいと考えている。
委員	次回の会議以降、この前期基本計画の形で、各課が上げてきた内容がどんどん出てくる。過去4年間の実績に対して、達成度を評価したものがあって、さらにそれを踏まえて、各課から項目に対して、後期基本計画案が出てくるということでしょうか。
事務局	そのように考えている。前期基本計画の評価については、前期計画の計画期

(企画戦略担当係長)	間が令和 5 年度までということで、途中での評価になってしまいますが、そういったところをお示しさせてもらいながら、先ほどから申し上げているとおり、前期基本計画を策定した時と時代が変わってきているので、特に、コロナの影響は非常に大きいため、デジタル化の推進も国の方で積極的に進めるということもある。そういったところを盛り込みながら、修正を行ってまいりたいと考えている。
委員	おそらくこの短いスケジュールの中で、第 2 回審議会まで待っていて、各課が作ってきた計画案では、この審議会で審議しても全くまとまらないと思うので、前期基本計画を見ていただいて、項目には該当するけれども、具体的な目標値などには何も入っていないようなものは、皆さんから先に意見をもらって、担当課にそれを後期基本計画の中に入れてもらうような形にしないと、間に合わないと思う。厚生病院の話は入れてこないと思う。各委員が参加している市に関わる様々な会議の中での意見などを、どんどん出していかないと間に合わなくて、反映されず、結局、時間がなくて反映できませんでして、逃げられてしまうと思う。そのような意見を出してもらう機会を作ってもらいたいという要望である。
会長	今回この第六次総合計画を始めてみる中で、漏れている、また、これを追加した方がよいのではないかというものを、各委員の方で、次回の会議までに提出してもらう必要もあると思う。
委員	第六次総合計画では、色んな重点項目があって、実績がどうであったかということもあるが、最終的にはまちづくりになってくると思う。まちづくりをどうするのかというものがないので、掲げているものはあるが、どうするのかというものはない。基本計画の見直しをしたとしても、根本的なまちづくりのものがないから、描かれないと、どこをどういう風に変えればよいのかということが個別の意見を出したとしても、現実的に難しいのではと思う。そういうところはどうか。
事務局 (共創企画部長)	まちづくりという点で言うと、この計画は総合計画で、種々具体的に、例えば、厚生病院を建替えますとか、個別具体的な内容は盛り込まれないものと考えている。こういう施策をするから、それを実現するために、こういった施設をつくっていくという実施計画で考えていくものとして捉えていただければと思う。まちづくり全般の話なので、どういったものになってくるのかになると、大きく目指すところは、総合計画の基本構想に記載されている姿になり、それに向かってどのように、実際に動いていくのか基本計画で方針を定めて、個別具体的な話については、実施計画で定めていくことになる。今回については、大きなまちづくりの観点からも必要だが、この総合計画については、大きな街づくりの方向性については、先ほど、再三説明しているが、あく

	までも基本構想の中に入っているもので、そこに踏み込むことは考えていない。その実施のために、具体的にどういった方向性の事をすればよいのかという基本計画について、本審議会に諮問しているところである。
委員	基本計画が非常に分かりにくいと思う。市民にとって、桐生の基本構想を思い描けないのではないかなと思う。おそらく、最終的に分かったようで、分からないままで終わるのではないかなと思う。もったいないと思う所が多いが、市民の人が分かりやすくできないかなと思う。
事務局 (共創企画部長)	「感性育み 未来織りなす 粋なまち きりゅう」が総合計画の将来都市像のテーマということで、すでに決まっているところである。この議論の中で、本来は委員のとおり、皆さんが求めている形がどういうものなのか、どういう形が分かりやすいのかというところを、もっとしっかり議論するべきだったと思う。ただ、大変申し訳ないが、今回の諮問については、基本構想は変更するところではないというところだけご理解いただきたい。今話があった点については、事務局といたしましては、後期基本計画を策定しなければならない。この４年間を作っていく間に、委員がおっしゃったような、分かりやすい決め方や設置の仕方を、これから先進都市などを研究する中で、次の第七次総合計画を策定する時に、生かしてまいりたいと考えている。
委員	桐生のまちに余裕はないと思う。人口の問題にしても、実際に出ている数字よりも、落ちているのではないかな。そういうことを考えると、桐生の将来のまちをどうするのか、待ったなしの状況にきているのではないかなと思う。人口が減ったとしても、こういうまちになるから安心ですよと市民の方に伝えることが大切なかなと思う。
事務局 (共創企画部長)	今後もそのようにすべく努力してまいりたいと考えている。先程も申し上げました通り、この審議の中では、基本構想は計画として８年間で決まっているので、今回の諮問の中では、ご理解賜りたいと思う。今後、次の計画を策定する時に、委員の発言をしっかり肝に銘じて、内容を精査してまいりたいと考えている。また、本日、諮問したわけですが、まちづくりをどうしようということについては、計画ではこの中で謳っている事であるが、色々皆様方の思うところがあると思うので、まちづくりの懇談会などを市で開催している。そういった中で、皆様方のご意見を十分にお聞きして、具体的な施策としては、落とし込んでいきたいと考えている。
委員	まちづくりを検討する意見交換をしたいと言っているのではなく、今ある計画を見直す上で、どういう風に先を見たのか、例えば、人口減少対策のワーキンググループに参画する中で、人口減少対策をするために、今ある計画と予算を見直してください。どういう風に見直すのかという意見を言うためには、

	目標になるところがあるが、人口減少の数字だけしか出ていない。例えば、ゆっくりリズムみたいな話があって、人口減少しても、楽しいまちになればよいということであれば、見直しはいらないんだよねという判断をしないといけない。個別に委員の考えがあると思う。私からすれば、人口をなるべく減らしたくないという気持ちが強いので、そのためには、予算を倍もらって、もっと補助金を出したほうがよいのか、具体的な話をさせてもらう中で、目指すところが分からなくて、具体的な意見が出しづらいかと思う。この審議会の中で、具体的な話をする一つとして、漠然としているかなと思う。
事務局 (共創企画部長)	今回、後期基本計画の諮問ということで、総合計画の基本計画というと漠然としたものになる。例えば、委員がおっしゃったように、ここに書いてある事業を行いますというものとしますと、例えば、もっと大きくしたらよいのか、小さくしたらよいのか、もっと予算をかけた方がよいのかというご意見ですが、例えば、この場でご意見をいただいた場合には、その意見を担当課に繋ぐことができる。当然その中で、担当課で検討してもらうことになる。また、人口減少という中で、総合戦略推進委員会もある。総合戦略推進委員会では、それぞれの委員にご意見をいただいた後、中で予算のことなどなんなのにつきましても、各課にこういうご意見がありましたと捲いて、翌年度の予算編成にあたっては、考慮いただけるような形を取っている。いずれにいたしましても、各施策のやり方であるとか、大きさであるとかについては、この審議会本体の中では、ちょっと別のものだと思いますが、やはり大事なことだと考えているので、例えば、審議を行う中で、ご意見等をいただければ、それを別の所で生かすという努力はさせていただきたいと考えている。
委員	初めてこの審議会に参加しているのだが、どのように市の意思決定がされているのか分かっていなかったところであるが、今の議論をお伺いして、第六次総合計画の 140 ページを見る中で、総合計画が最上位計画として、この審議会があり、具体的な設計はそれ以外のところでやるということであったと思うのだが、私も環境先進都市の委員会を担当しているが、第六次の総合計画がこれで、だから、この委員会で議論してくださいという関連を伺わなかった気がする。他の委員会は分らないが、具体的な議論がここだとしたら、具体的な議論が総合計画に戻らないといけないと思うのであるが、そういう仕組みになっているのか。 例えば、どこかの章を見ると、担当課を記載しているが、どの委員会で議論したのかという情報は載っていない。おそらく、上位概念があって、それに従って、色んな委員会で議論したものが、戻って言うタイミングなのかと思う。そういうことを意識して各委員会が行われているのか疑問に思った。
事務局 (共創企画部長)	市では、色んな委員会がある中で、当然、それぞれの分野を進めるためにある委員会であるため、その委員会の意見というものは、当然担当課を通して、

	総合計画には反映されるものと考えている。ただ、委員がおっしゃったように、そういう不十分なところも散見されるのかもしれない。今後、その点について、各課に照会して意見を伺う中では、もう一度各課が分野ごとに進める委員会等の意見をしっかり踏まえたものであるのかということの確認を行ってまいりたいと考えている。
委員	私も初めて、この審議会に参加し、まず何を議論したらよいのか全然分からなかった。このため、今まで意見も言わなかったが、いずれにしても、4年の計画が経って、残りの4年間ということである。私は、新里の未来を語る会の代表であり、合併した流れの中で、実際今はどうなんだろうということがある。ある程度、地元の事を考えなければいけないと思っていた。ただ、今の段階だと、話を聞いているだけで、非常に難しい会だと感じた。実際、今日来てみて、話についていけなかったら、次どうしようかなと考えていた。せっかく合併したので、自分たちにもう少し、色んな意味で話をしたいと思っている。本日は、それほど深い話は出来ないが、話があっち行ったり、こっち行ったり難しくて、理解が出来ず苦しんでいるが、よろしくお願いしたい。
委員	基本構想の下にある基本計画の後期基本計画を策定していく。この審議会は、桐生市の意思決定の最高位にある。このため、先ほど、委員からありましたような、各委員会のものを反映しているし、ここで計画されたものが、出た意見が、それぞれの委員会の方に、おろされていき、議論される。基本構想については、当たり前的事しか記載されていない。桐生市にとって、時間がない。それを4年後からやってくれというような時間的な余裕はない。早く始めないと、取り残されてしまう。何とかしないといけないと思っているが、スピード感を持って、この中でしか話が出来ないということではなく、どんどん活発な意見を述べられるような会にしてもらいたいと考えている。
事務局 (共創企画部長)	この会議の第1の目標としては、市長から諮問があり、その事に答申しなければいけないということがある。後期基本計画を策定することが、最大の目的である。このため、そのことをまずは行っていただきたいと考えている。その他のことにつきまして、委員からもお話がありましたが、具体的にこうしたらどうだ、ああしたらどうだというご意見につきましては、主目的ではないが、各担当課の方には、必ず下ろしていきたいと考えている。その意見を踏まえる中で、審議会の委員から出た意見だということを、各課に伝えていきたいと考えている。ただ、そのことが、どのように生きていくのかということについては、体系的には出来上がっていないので、なかなかこうなるああなるということはこの場で申し上げることができないが、必ず出たご意見について、担当課に対して、伝えていくことを行っていきたいと思うので、後期基本計画を策定するための議論をいただく中で、色んなご意見をいただきたいと思っている。各分野における様々なご意見というのは、桐生市からの状況を見れば、悠長な

	ことを言っていないということは我々も十分に認識しているので、各課に早急に検討なりなんなりを伝えてまいりたいと考えている。
委員	確認させていただきたいのは、29 ページに前期基本計画の施策の体系が記載してあるが、後期基本計画にも出てくる場合、どこの部分まで見直しを考えていて、各課に照会を掛けているのか教えてもらいたい。 具体的には、6 つの施策の方向性があり、これを維持するのか、これも変更しようとしているのか、また、その下にぶら下がっている分野別施策も変更するのか、中身を維持するとなった時に、基本方針をいじるのか、 人口減少の話も出たが、爆弾発言するが、長生きさせて人口を確保するのだったら、健康寿命だけを取って、早めに減らすということもありますし、そこをいじるのか、若しくは、それぞれの施策の方向性を減らすのか、どのレベルで各課に照会しているのかを教えていただきたい。
事務局 (企画戦略担当係長)	6 つの施策の方向性については、大綱で定まっているので、このままの形という風に考えている。分野別施策については、前期基本計画を基本としつつ、先ほど申し上げたとおり、策定から 4 年間経過している中で、現状と課題が変わってきている部分もあるので、追加しなければいけないものも出てくると想定している。このため、各課への照会については、前期基本計画を基本としつつ、反映してもらうことの照会をかけている。
委員	分野別施策は増える可能性があるし、減る可能性もあるということで理解した。
会長	今回の会議まで、時間があるので、特に分野別施策については、抜けているものなどお気づきの点があれば、今回の会議までに意見等を言っていただければと思う。シートみたいなもので、事務局に送付することでよいか。
事務局 (企画戦略担当長)	事務局の方から各委員宛てに、あらためて通知させていただき、前期基本計画を確認していただく中で、気になる点や修正した方がいいのではないかと いう意見があれば、報告していただければと思う。その点は、担当課の方に投げさせていただく。
委員	施策の体系を見らる中で、これだけの項目がある。総合計画をやらなければならないことはよく分かるのだが、市として当然やらなければならないことは、この中でもたくさんあると思うのだが、その中で、桐生市として、どういう所を特徴づけるのか、桐生市らしい体系にしていくのか、これを全部やっていたら、ものすごい時間が掛かるだろうし、桐生市の担当課で考えてやるようなことがだいたいあるのだと思う。もう少し、この部分は強みというか、全て市で当然やらなければならないことだと思うが、ここでみんなが集まってするの

	であれば、桐生のまちづくりは基本的に、こういった方向が良いのではないかと いう濃淡をつけた方がよいのではないかと。
事務局 (共創企画部長)	総合計画課は、市の最上位計画であるため、ある程度全方位の内容を記載し なければならないものと考えている。そのような中で、桐生市では、人口減少 対策が最重要であると考えている中で、総合計画の中には、重点施策という形 で赤字において表記している。重点施策が最も進めてまいりたい施策である。 このような計画になっているということでご理解いただければと思う。

8 その他

- ・事務局より、次回の開催日程及び委員報酬の支払日（7月10日（月））について事務連絡。

9 閉会 [終了：午後8時00分]

以 上